

あなたにもできる、地球温暖化防止

地球温暖化は、CO₂(二酸化炭素)やフロンなどの温室効果ガスが原因であり、二酸化炭素の排出量削減は世界的な課題です。個人には関係ないと思われるかもしれませんが、日本では1990年～2003年までの13年間で、産業関係からのCO₂排出量の増加が0.3%であるのに対し、家庭からの排出量は31.4%も増えているのです。

一人ひとりが少しずつ生活を変えることで、地球温暖化防止に大きく役立ち、電気料金などの節約にもつながります。以下の家庭でできる地球温暖化の防止策を参考に、あなたも生活を見直してみませんか？

冷 暖房はプラス・マイナス1℃

「クールビズ」が話題を集めました。冷暖房の温度を、夏なら少し上げ、冬なら少し下げること、CO₂が削減できます。ちなみにエアコンの場合、冷房の温度を1度上げるより、暖房の温度を1度下げた方が、CO₂の削減効果は数倍大きくなります。目安は、冷房28℃、暖房20℃です。

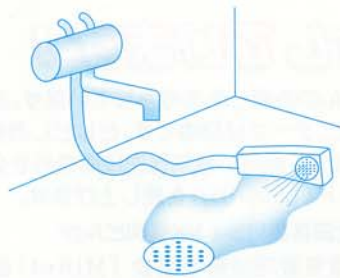
- ⇒1世帯あたりの年間CO₂削減効果 **約31kg/年**
- ⇒1世帯あたりの年間節減効果 **約2,000円/年**



シャワーはこまめに止める

シャワーを1分間出っぱなしにすると、約10Lの水を使ったこととなります。水を温める時や水道水を送るときには、電気も多く使われます。水は出しっぱなしにせず、こまめに止めることが大切です。節水効果のあるシャワーヘッドなどを使うのも有効です。

- ⇒1世帯あたりの年間CO₂削減効果 **約65kg/年**
- ⇒1世帯あたりの年間節減効果 **約4,000円/年**



クルマのアイドリング・ストップ

エンジンを掛けっぱなしでクルマを離れることはありませんか？ アイドリング中でもガソリンを消費します。自動車から1分以上離れるときは、エンジンを切ってください。東京都内に登録されているすべての自動車(約400万台)が、アイドリングを毎日10分間ずつ短縮すれば、1年間で、燃料は約20万kL、CO₂の排出量は約13万t削減できます。

- ⇒1世帯あたりの年間CO₂削減効果 **約39kg/年**
- ⇒1世帯あたりの年間節減効果 **約2,000円/年**



買 い物袋は自前で

スーパーやコンビニのレジでもらう手さげ袋は、平均すると1人当たり年間約300枚にもなります。その袋をつくる時にも、再生・破棄するときにもCO₂が出ます。あらかじめ自分で買い物袋を用意する時代です。プラスチックのトレーなどでもできるだけ避け、ゴミを増やさないことも大切です。

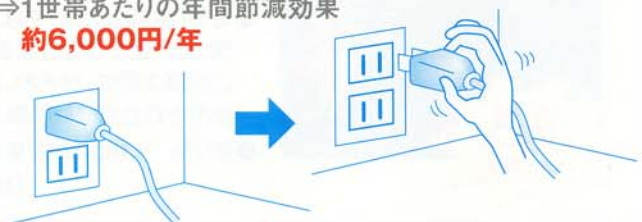
- ⇒1世帯あたりの年間CO₂削減効果 **約58kg/年**



待 機電力をなくす

テレビやオーディオ、電子レンジなどは、主電源を切らない限り電力が消費されています。この「待機電力」をなくせば、家庭の電気使用量の約10%を節約できるとの試算もあります。使わないときはプラグをコンセントから抜くこと。スイッチ付きのコンセントを利用すると便利です。

- ⇒1世帯あたりの年間CO₂削減効果 **約87kg/年**
- ⇒1世帯あたりの年間節減効果 **約6,000円/年**



省 エネとエコで選んで買う

エアコンや冷蔵庫などは「省エネ性能」を表示しています。新たに家電製品を買う時はこの表示を目安に選びましょう。環境にもやさしく、中には電気代が年間数万円も節約できるものもあり、古くなった電気機器を使うより省エネ効果が期待できます。

- ⇒1世帯あたりの年間CO₂削減効果 **冷蔵庫・約170kg/年**
エアコン・約130kg/年
- ⇒1世帯あたりの年間節減効果 **冷蔵庫・約11,000円/年**
エアコン・約8,700円/年



※1 1世帯あたりの年間CO₂削減効果の数字は、環境省のホームページ「チーム・マイナス6%/6つのアクション」より
※2 温室効果ガスはいろいろな種類がありますが、CO₂(kg-C)に換算して表示しています。